

出張報告書

令和  年 7 月 8 日

会派名 志誠会
会長 立崎 聡一 様

出張者氏名 近藤 憲治 

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和1年7月3日(水) ～ 令和1年7月4日(木) [2日間]						
出張概要	①	月日	7月3日	市町村名	札幌市	会場	札幌プリンスホテル
		目的	青年世代による政治の変革意見交換				
		テーマ	・青年世代の地方議員、国会議員及びその候補者による意見交換				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的	移動日				
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

青年世代による政治の変革意見交換会（札幌）

同世代で参議院選挙に挑戦する森本勝也氏と座談会形式で意見を交わす機会を得た。森本氏は奈良県出身で建設業の経営のかたわら、青年会議所運動にも力を発揮し、特に 2011 年の東日本大震災の際は、日本青年会議所を牽引するポジションで被災地支援、災害復旧をリードした経験を有する稀有な存在である。そういった経験を経て、今後の政治の在り方、特に地域の声をどう国政で形にしていすべきか、を主題に意見交換を行った。森本氏は「災害が発生してから、いざどうするか、という対応ではなく、普段からのコミュニティのつながりこそが我が国の強みであり、薄れつつある地域はもう一度紡ぎなおすことに力を割く必要がある」と提言。私からは、「高齢化や少子化で既存のコミュニティを、そのまま現状維持させていくのはなかなか困難な面もある。ICT の活用を含めて、簡単だけど役に立つ、頼れる地域コミュニティを実現していかないとなかなか紡ぎ直しはうまくいかない。変化を恐れず、新しいチャレンジを」と発言させていただいた。他の参加者からは「やはり変革を生み出せるリーダーを育てないと行き詰まるのではないか」「ここに集った人間からまずはアクションを起こそう」などの意見も出された。